

「ありがとう」に思いをのせて 山中菜幹

私の母は、高校時代の友人と文通をしています。スマートフォンで、メールのやり取りをするのが普通の時代に、今どき手書きで書いた手紙なのかと不思議に思うのですが、メールでは伝わらない気持ちがお互いに伝えられるので良いのだと、母は言います。先日、その友人から何ヶ月も手紙がこないことがあり、何か大変なことが起きたのではないかと、病気で入院でもしてしまったのではないかと、心配になった母が電話をかけたところ、仕事が忙しすぎて手紙を書くことができなかっただけで、病気などではなかったことがわかり、母はほっと胸をなでおろしていました。その時、母の友人は

「心配してくれてありがとう。」

と言っていたそうです。普通の人であれば、

「心配かけてごめんね。」

と言うだろうけど、心配してくれてありがとう。このやり取りをきいて、私は母とその友人が、とてもお互いを思いあっていることがわかり、心がとても温かくなりました。

また、別の日のことですが、雨の降っていた日に、自宅の前で、見知らぬ高校生のお姉さんが、自転車が壊れていて困っていました。私の祖母は、自転車を家の車庫で修理して、車で高校まで送って行ってあげたことがあります。後日、そのお姉さんに何度も

「助けていただいてありがとうございます。」

と言われている祖母を見て、私は祖母のことをとても誇らしく思いました。祖母は困っている高校生を見て、もしも孫である私が、いつかどこかで、同じように困っていたら、誰かが私を助けてくれますように、と思って助けたのだと言っていました。祖母は感謝されたいから助けたのではありません。感謝する気持ちをその人がまた他の誰かに伝えて、みんながみんなを助けあって、

「ありがとう」

と感謝し合う。そんな世の中になってほしいという気持ちが心にあったのだと思います。

小さい頃に使っていた

「ありがとう」

という言葉は、何か物をもらったり、何かをしてもらったりした時のとっさに出るお礼の言葉としての

「ありがとう」

でした。大きくなるにつれてこの言葉にはもっと深く、大きな意味があることに私は気づきました。相手への感謝だけでなく、自分の相手への気持ち、あなたがいてくれてうれしいという思いまでも、時にはのせて発することがあるのだなあ、と感じました。

今の時代は、感謝の気持ちもメールで簡単に済ませてしまう人が多いです。なので、人に直接、

「ありがとう」

と伝えるのは照れくさいし、時には面倒だと思ってしまいます。でも直接声に出して言う

「ありがとう」

この言葉は、メールの文字で書く、

「ありがとう」

の言葉よりも何倍も何倍も色々な思いをのせて相手の心に響かせることのできる、人間にしかできない特別な人への伝え方であり、自分の気持ちの表現であると思います。人に何かをしてもらったら、

「ごめんなさい」

の言葉よりも、

「ありがとう」

という言葉を言いたい、誰もが思っているはずだと思います。そして人からもらった

「ありがとう」

の気持ちをもっともっと、大きくして誰かに伝えていきたいと思っています。